

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	視能訓練士学科1年制		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実習
科 目 名	生理光学実習		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	昼間部1年		学期	前期	教室名	4階・7階実習室 合同校舎702教室
担 当 教 員	高宮麻也子・昏石勝代					
実務経験と その関連資格	【実務経験】 高宮麻也子:視能訓練士として総合病院、クリニックに勤務。光学的屈折矯正検査に従事。 昏石 勝代:視能訓練士として総合病院に勤務し、光学的屈折矯正検査に従事。					
	【関連資格】 視能訓練士					
《授業科目における学習内容》						
検査の手技、検査説明、検査原理を実技実習を通して習得させる。 眼科診療において必須検査である屈折検査を主に実習し、臨地実習に向けて理論に基づいた実技を行えるように指導する。						
《成績評価の方法と基準》						
本試験 50% 平常点(実技チェック レポート提出など含む) 50%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
視能学第3版(小林 義治、松岡 久美子、臼井 千恵、岡 真由美編集:文光堂,2022) 図解眼科検査法(湖崎 克監修,滋慶学園グループ視能訓練士養成校担当教員編著:(株)滋慶出版,2024) 生理光学ドリル基礎編 生理光学ドリルⅡ (滋慶教育科学研究所:滋慶出版)						
《授業外における学習方法》						
授業の予習、復習 小テストの勉強と見直し						
《履修に当たっての留意点》						
臨地実習において屈折検査の理論の理解と基本的な検査手技の習得は必須である。検査の手技の習得とともに場面に応じた検査説明を検討し、実践することで臨床における説明力の基礎を習得することが望まれる。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	授業を通じての到達目標	裸眼視力検査の理論を理解し、検査できる。		視力検査機器	教科書の該当ページを読んでおくこと	
	各コマにおける授業予定	裸眼視力測定・0.1未満の視力検査 (字一つ、指数弁、手動弁、光覚)				
第2回	授業を通じての到達目標	検査の原理が説明できる。 瞳孔間距離を正しく測定することができる。		教科書 配布資料 三田式万能計	授業の予習・復習 授業に加え、自主的な実習が望まれる。 レポート作成	
	各コマにおける授業予定	瞳孔間距離測定				
第3回	授業を通じての到達目標	他覚的屈折検査の説明ができる。 裸眼視力が測れる。		視力検査機器	授業に加え、自主的な実習が望まれる。	
	各コマにおける授業予定	他覚的屈折検査、裸眼視力測定				
第4回	授業を通じての到達目標	検査の原理が説明できる。 レンズメータで単焦点眼鏡の度数を正確に測定することができる。		教科書 配布資料 レンズメータ	授業の予習・復習 授業に加え、自主的な実習が望まれる。	
	各コマにおける授業予定	レンズメータ(単焦点眼鏡)				
第5回	授業を通じての到達目標	他覚的屈折検査の説明ができる レンズ交換法の理論が説明できる		教科書 検査ノート 視力検査機器	授業に加え、自主的な実習が望まれる。	
	各コマにおける授業予定	自覚的屈折検査(レンズ交換法)、他覚的屈折検査				

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	授業を通じての到達目標	検査の原理が説明できる。 レンズメータで単焦点眼鏡の度数を正確に測定することができる。	教科書 配布資料 レンズメータ	授業の予習・復習 授業に加え、自主的な実習が望まれる。
	各コマにおける授業予定	レンズメータ(単焦点眼鏡)		
第7回	授業を通じての到達目標	屈折検査ができ、正しく記載できる。検査の原理が説明できる。	教科書 検査ノート 視力検査機器	授業に加え、自主的な実習が望まれる。
	各コマにおける授業予定	自覚的屈折検査(レンズ交換法)、他覚的屈折検査		
第8回	授業を通じての到達目標	正しく検査ができ、検査結果を記載できる。検査結果を考察できる。	教科書 配布資料 レンズメータ 生理光学ドリル 眼突計 三田式万能計	授業の予習・復習 授業に加え、自主的な実習が望まれる。
	各コマにおける授業予定	外眼部検査・レンズメータ(単焦点)		
第9回	授業を通じての到達目標	屈折検査ができ、正しく記載できる。検査の原理が説明できる。	教科書 検査ノート 視力検査機器	授業に加え、自主的な実習が望まれる。
	各コマにおける授業予定	自覚的屈折検査(レンズ交換法)、他覚的屈折検査		
第10回	授業を通じての到達目標	正しく検査ができ、検査結果を記載できる。検査結果を考察できる。	教科書 配布資料 レンズメータ 生理光学ドリル 眼突計 三田式万能計	授業の予習・復習 授業に加え、自主的な実習が望まれる。
	各コマにおける授業予定	外眼部検査・レンズメータ(単焦点)		
第11回	授業を通じての到達目標	屈折検査ができ、正しく記載できる。検査の原理が説明できる。	教科書 検査ノート 視力検査機器	授業に加え、自主的な実習が望まれる。
	各コマにおける授業予定	自覚的屈折検査(クロスシリンダー)実習		
第12回	授業を通じての到達目標	正しく検査ができ、検査結果を記載できる。検査結果を考察できる。	教科書 配布資料 レンズメータ 生理光学ドリル 眼突計 三田式万能計	授業の予習・復習 授業に加え、自主的な実習が望まれる。
	各コマにおける授業予定	外眼部検査・涙液検査・レンズメータ(多焦点眼鏡)		
第13回	授業を通じての到達目標	屈折検査ができ、正しく記載できる。検査の原理が説明できる。	教科書 検査ノート 視力検査機器	授業に加え、自主的な実習が望まれる。
	各コマにおける授業予定	自覚的屈折検査(クロスシリンダー)実習		
第14回	授業を通じての到達目標	正しく検査ができ、検査結果を記載できる。検査結果を考察できる。	教科書 配布資料 レンズメータ 生理光学ドリル 眼突計 三田式万能計	授業の予習・復習 授業に加え、自主的な実習が望まれる。
	各コマにおける授業予定	外眼部検査・涙液検査・レンズメータ(多焦点眼鏡)		
第15回	授業を通じての到達目標	レフラクトメータ、ノンコンタクトノメータを用いた検査が正確にできる。	レフラクトメータ ノンコンタクトノメータ	実技の復習
	各コマにおける授業予定	見学実習前実技チェック		

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	視能訓練士学科1年制		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実習
科 目 名	生理光学実習		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	昼間部1年		学期	前期	教室名	4階・7階実習室 合同校舎702教室
担 当 教 員	高宮麻也子・昏石勝代					
実務経験と その関連資格	【実務経験】 高宮麻也子:視能訓練士として総合病院、クリニックに勤務。光学的屈折矯正検査に従事。 昏石 勝代:視能訓練士として総合病院に勤務し、光学的屈折矯正検査に従事。 【関連資格】 視能訓練士					
《授業科目における学習内容》						
検査の手技、検査説明、検査原理を実技実習を通して習得させる。 眼科診療において必須検査である屈折検査を主に実習し、臨地実習に向けて理論に基づいた実技を行えるように指導する。						
《成績評価の方法と基準》						
本試験 50% 平常点(実技チェック レポート提出など含む) 50%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
視能学第3版(小林 義治、松岡 久美子、臼井 千恵、岡 真由美編集:文光堂,2022) 図解眼科検査法(湖崎 克監修,滋慶学園グループ視能訓練士養成校担当教員編著:(株)滋慶出版,2024) 生理光学ドリル基礎編 生理光学ドリルⅡ (滋慶教育科学研究所:滋慶出版)						
《授業外における学習方法》						
授業の予習、復習 小テストの勉強と見直し						
《履修に当たっての留意点》						
臨地実習において屈折検査の理論の理解と基本的な検査手技の習得は必須である。検査の手技の習得とともに場面に応じた検査説明を検討し、実践することで臨床における説明力の基礎を習得することが望まれる。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第 1 6 回	授業を通じての到達目標	レフラクトメータ、ノンコンタクトノメータを用いた検査が正確にできる。		レフラクトメータ ノンコンタクトノ メータ	実技の復習	
	各コマにおける授業予定	見学実習前実技チェック				
第 1 7 回	授業を通じての到達目標	屈折検査ができ、正しく記載できる。検査の原理が説明できる。		視力検査機器	授業に加え、自主的な実 習が望まれる。	
	各コマにおける授業予定	自覚的屈折検査(クロスシリンダー)実習・角膜検査				
第 1 8 回	授業を通じての到達目標	検査ができ、正しく記載できる。検査の原理が説明できる。		教科書 配布資料 視力検査機器	レポート作成 授業に加え、自主的な実 習が望まれる。	
	各コマにおける授業予定	コントラスト視力・PL法				
第 1 9 回	授業を通じての到達目標	屈折検査ができ、正しく記載できる。検査の原理が説明できる。		生理光学ドリル	授業に加え、自主的な実 習が望まれる。	
	各コマにおける授業予定	自覚的屈折検査(乱視表)実習・角膜検査				
第 2 0 回	授業を通じての到達目標	検査ができ、正しく記載できる。検査の原理が説明できる。		教科書 配布資料 視力検査機器	レポート作成 授業に加え、自主的な実 習が望まれる。	
	各コマにおける授業予定	コントラスト視力・PL法				

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第 2 1 回	授業を通じての到達目標	屈折検査ができ、正しく記載できる。検査の原理が説明できる。	視力検査機器 マイクロスペキュ ラー	授業に加え、自主的な実 習が望まれる。
	各コマにおける授業予定	自覚的屈折検査(乱視表)実習・角膜検査		
第 2 2 回	授業を通じての到達目標	遠点近点を正しく測定できる。 調節力を求めることができる。	教科書 配布資料 調節力検査機器	レポート作成 授業に加え、自主的な実 習が望まれる。
	各コマにおける授業予定	調節検査		
第 2 3 回	授業を通じての到達目標	屈折検査ができ、正しく記載できる。検査の原理が説明できる。	視力検査機器	授業に加え、自主的な実 習が望まれる。
	各コマにおける授業予定	自覚的屈折検査(乱視表)実習・角膜検査		
第 2 4 回	授業を通じての到達目標	遠点近点を正しく測定できる。 調節力を求めることができる。	教科書 配布資料 調節力検査機器	レポート作成 授業に加え、自主的な実 習が望まれる。
	各コマにおける授業予定	調節検査		
第 2 5 回	授業を通じての到達目標	検査の原理が説明できる。検査ができ、検査結果を正しく記載でき る。	検影法検査機器	授業に加え、自主的な実 習が望まれる。
	各コマにおける授業予定	検影法		
第 2 6 回	授業を通じての到達目標	近見視力検査ができ、正しく記載できる。 検査の原理が説明できる。	教科書 配布資料 近見視力表	レポート作成 授業に加え、自主的な実 習が望まれる。
	各コマにおける授業予定	近見屈折矯正の概要と近見視力検査		
第 2 7 回	授業を通じての到達目標	検査の原理が説明できる。検査ができ、検査結果を正しく記載でき る。	検影法検査機器	授業に加え、自主的な実 習が望まれる。
	各コマにおける授業予定	検影法		
第 2 8 回	授業を通じての到達目標	近見視力検査ができ、正しく記載できる。 検査の原理が説明できる。	教科書 配布資料 近見視力表	レポート作成 授業に加え、自主的な実 習が望まれる。
	各コマにおける授業予定	近見屈折矯正の概要と近見視力検査		
第 2 9 回	授業を通じての到達目標	屈折異常とその病態、治療法について理解できる	教科書 配布資料	教科書の該当ページを読 んでおくこと。
	各コマにおける授業予定	近視		
第 3 0 回	授業を通じての到達目標	屈折異常とその病態、治療法について理解できる	教科書 配布資料	教科書の該当ページを読 んでおくこと。
	各コマにおける授業予定	近視		